「教育実践学研究」利益相反自己申告書

投稿時から遡って過去1年以内での論文発表内容に関係する企業・組織または団体との　利益相反状態を記載してください（著者全員が各1部作成）。

論文題名：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　目 | 該当の状況 | 該当のある場合：企業名，項目，金額，　支払い理由など |
| １． 役員、顧問職などの報酬1つの企業・団体から年間 100 万円以上のもの | 有　/　無 | 　 |
| ２． 株式の利益1つの企業からの利益が年間 100 万円以上，あるいは当該株式の 5％以上の保有のもの | 有　/　無 | 　 |
| ３． 特許権使用料1つの知的財産権利使用料が年間 100 万円以上のもの | 有　/　無 | 　 |
| ４． 謝金・講演料等1つの企業・団体からの講演料（会議の出席や発表に関する時間・労力に対して支払われた日当や講演料）などが年間合計 50 万円以上のもの | 有　/　無 | 　 |
| ５． 原稿料など1つの企業・団体からの原稿料（パンフレットなどの執筆に対して　　支払われた原稿料）などが年間合計 50 万円以上のもの | 有　/　無 | 　 |
| ６． 研究費（受託研究・共同研究）・助成金などの総額1つの企業・団体から研究経費を共有する所属部局（講座，分野　あるいは研究室など）に払われた総額が年間 100 万円以上のもの | 有　/　無 | 　 |
| ７． 奨学寄付金（奨励寄付金）などの総額1つの企業・団体から研究経費を共有する所属部局（講座，分野あるいは研究室など）に払われた総額が年間 100 万円以上のもの | 有　/　無 | 　 |
| ８． 企業や営利を目的とした団体が提供する寄付講座企業・団体などからの寄付講座に所属している場合 | 有　/　無 | 　 |
| ９． その他の報酬1つの企業・団体から年間 5 万円以上のもの（研究とは無関係な旅費，贈答品等の受領） | 有　/　無 | 　 |

私の利益相反に関する状況は申告の通りであることに相違ありません。

（本申告書は申告の日から3年間，厳重に間保管されます）

申告日（西暦）　　　　　年　　　月　　　日

該当者氏名（自署）

所属